



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年8月5日

上場取引所 名

上場会社名 名古屋電機工業株式会社
コード番号 6797 URL <http://www.nagoya-denki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長
四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

(氏名) 干場 敏明
(氏名) 中村 昭秀

TEL 052-443-1111

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	2,178	31.7	△419	—	△412	—	△418	—
28年3月期第1四半期	1,653	△14.5	△581	—	△566	—	△487	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△65.70	—
28年3月期第1四半期	△79.31	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	14,584	9,033	61.9
28年3月期	14,231	9,533	63.1

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 9,033百万円 28年3月期 9,533百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成28年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当2円00銭 記念配当3円00銭

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,700	57.9	△540	—	△520	—	△530	—	△84.61
通期	17,000	19.8	330	143.5	370	119.2	300	23.8	47.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

※詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	6,422,000 株	28年3月期	6,422,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	58,090 株	28年3月期	58,090 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	6,363,910 株	28年3月期1Q	6,143,910 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による各種経済対策や日銀による金融緩和を背景に、雇用・所得環境や企業収益の改善が見られ、緩やかな回復基調が続きました。一方、中国をはじめとするアジア新興国や資源国等の景気の下振れ懸念などにより、依然としてわが国経済の先行きは不透明な状況が続いております。

当社の主要事業であり、官需を主とする情報装置事業につきましては、同業他社に加え近年新規参入した企業との価格競争が依然として続いております。そのような状況下、さらに総合力を高め、きめ細かい受注活動を行ってまいりました。

一方、民需を主とする検査装置事業につきましては、企業の設備投資は持ち直しの動きが見られるものの、受注獲得のため、他社製品との導入時期、性能等の差別化競争は激しさを増しております。そのため、より優れた製品で顧客ニーズに対応すべく、高機能はんだ付け外観検査装置を中心に新製品の開発を進めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間におきましては、売上高21億78百万円（前年同期比31.7%増）となりました。損益面については、営業損失4億19百万円（前年同期は5億81百万円の損失）、経常損失4億12百万円（前年同期は5億66百万円の損失）、四半期純損失4億18百万円（前年同期は4億87百万円の損失）となりました。

また、当第1四半期会計期間の末日現在の受注残高は88億86百万円となりました。

なお、当社の主要事業である情報装置事業の大半は、官公庁向けの道路交通に関わる情報装置関連製品であり、例年、売上高は第4四半期、特に期末に集中する傾向がありますので、第1四半期累計期間の収益は、相対的に低水準となっております。

セグメントの概況につきましては、次のとおりです。

① 情報装置事業

高速道路会社向け大型案件の進捗が堅調だったことから、売上は前年同期を上回りました。また、利益面につきましては、受注獲得に向けた激しい競争はあったものの、売上が堅調だったことから前年同期に比べ改善しました。

この結果、売上高19億44百万円（前年同期比41.1%増）、営業損失1億34百万円（前年同期は3億63百万円の損失）となりました。なお、利益につきましては、ほぼ均等に発生する固定費に対して、売上高が期末に集中するといった季節的変動が大きいことから、第1四半期累計期間では、赤字計上となっております。

② 検査装置事業

新製品を市場投入し、受注活動を推進したものの、既存のはんだ付け外観検査装置やX線検査装置の期首受注の落ち込みにより前年同期に比べ売上高は減少し、利益は悪化しました。

この結果、売上高2億34百万円（前年同期比14.8%減）、営業損失1億60百万円（前年同期は92百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産は145億84百万円となり、前事業年度末と比較して3億52百万円の増加となりました。

流動資産は107億99百万円となり、前事業年度末と比較して4億47百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が21億22百万円減少したものの、現金及び預金が19億72百万円、仕掛品が5億43百万円増加したことによるものです。

固定資産は37億85百万円となり、前事業年度末と比較して94百万円の減少となりました。これは主に、投資有価証券が65百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は55億51百万円となり、前事業年度末と比較して8億53百万円の増加となりました。

流動負債は54億93百万円となり、前事業年度末と比較して8億58百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が10億45百万円減少したものの、前受金が15億86百万円増加したことによるものです。

固定負債は58百万円となり、前事業年度末と比較して5百万円の減少となりました。これは主に、繰延税金負債が5百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は90億33百万円となり、前事業年度末と比較して5億円の減少となりました。これは主に、利益剰余金が4億49百万円、その他有価証券評価差額金が50百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、当初予定どおり売上高170億円、営業利益3億30百万円、経常利益3億70百万円、当期純利益3億円を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,889,877	5,862,148
受取手形及び売掛金	4,910,583	2,788,410
製品	1,098	1,628
仕掛品	666,466	1,210,001
原材料及び貯蔵品	578,540	509,847
その他	306,079	427,700
貸倒引当金	△375	△121
流動資産合計	10,352,270	10,799,614
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,987,330	1,987,330
その他(純額)	843,000	811,747
有形固定資産合計	2,830,330	2,799,077
無形固定資産		
	93,283	86,941
投資その他の資産		
投資有価証券	803,757	737,793
その他	152,129	161,272
投資その他の資産合計	955,886	899,065
固定資産合計	3,879,500	3,785,085
資産合計	14,231,770	14,584,699
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,142,322	1,096,942
電子記録債務	683,877	1,514,726
未払法人税等	14,400	6,838
前受金	42,048	1,628,458
賞与引当金	303,956	383,228
役員賞与引当金	16,400	21,387
製品保証引当金	133,602	121,734
工事損失引当金	155,175	235,533
その他	1,142,367	484,255
流動負債合計	4,634,152	5,493,105
固定負債		
	64,298	58,573
負債合計	4,698,451	5,551,678
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,184,975	1,184,975
資本剰余金	1,105,345	1,105,345
利益剰余金	7,158,199	6,708,274
自己株式	△25,168	△25,168
株主資本合計	9,423,350	8,973,425
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	109,969	59,595
評価・換算差額等合計	109,969	59,595
純資産合計	9,533,319	9,033,021
負債純資産合計	14,231,770	14,584,699

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	1,653,995	2,178,980
売上原価	1,836,108	2,138,114
売上総利益又は売上総損失(△)	△182,112	40,866
販売費及び一般管理費	399,029	460,499
営業損失(△)	△581,142	△419,633
営業外収益		
受取配当金	8,682	9,893
廃材処分収入	1,376	739
その他	9,347	7,287
営業外収益合計	19,406	17,921
営業外費用		
支払保証料	2,642	8,054
減価償却費	1,802	1,589
その他	52	644
営業外費用合計	4,496	10,288
経常損失(△)	△566,231	△412,000
特別利益		
投資有価証券売却益	65,456	255
特別利益合計	65,456	255
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税引前四半期純損失(△)	△500,775	△411,744
法人税、住民税及び事業税	8,027	6,170
法人税等調整額	△21,540	189
法人税等合計	△13,513	6,360
四半期純損失(△)	△487,261	△418,105

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	情報装置事業	検査装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,378,208	275,787	1,653,995	—	1,653,995
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,378,208	275,787	1,653,995	—	1,653,995
セグメント損失(△)	△363,633	△92,764	△456,397	△124,744	△581,142

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△124,744千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△124,744千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門及び研究開発部門に係る費用であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	情報装置事業	検査装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,944,041	234,939	2,178,980	—	2,178,980
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,944,041	234,939	2,178,980	—	2,178,980
セグメント損失(△)	△134,776	△160,320	△295,096	△124,536	△419,633

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△124,536千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△124,536千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門及び研究開発部門に係る費用であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。